

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第 3 号
受 理 年 月 日	令和5年11月27日
件 名	健康保険証の存続を求める意見書提出の件
請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名	宝塚市逆瀬川1-1-19 中井医院 兵庫県保険医協会 北阪神支部 支部長 中井 通治 外 1人
請 願 の 要 旨	別 紙
紹 介 議 員 名	日本共産党伊丹市議会議員団 服部 好廣
付 託 委 員 会 名	文教福祉常任委員会

令和5年11月27日

伊丹市議会議長

戸 田 龍 起 様

請 願 者

住 所 宝塚市逆瀬川1-1-19

中井医院

氏 名 兵庫県保険医協会 北阪神支部

支部長 中井 通治

住 所 伊丹市中野西3-131

氏 名 兵庫県保険医協会 北阪神支部

副支部長 林 宗茂

紹 介 議 員 日本共産党伊丹市議会議員団 服部 好廣

1 件名

健康保険証の存続を求める意見書提出の件

2 請願の要旨

市民のいのちと健康をまもるためにご奮闘いただいていることに敬意を表します。

政府は、2024年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を可決・成立させました。

しかし、誤登録や情報漏えい、「資格無効」と表示される等、マイナ保険証に関するトラブルが続出し、多くの患者・国民が不安を抱えています。

兵庫県保険医協会が実施したアンケート調査（回答数657件）では、オンライン資格確認システムを運用する医療機関件のうち、64.2%が何らかのトラブルを経験しています。

トラブルの内容として、他人の情報が紐づけられていたケースが6件ありました。誤紐づけによる投薬・診療情報の取り違えは、重大な医療事故につながりかねません。機微性の高い医療情報を他人が閲覧できる状態になっていたことは重大な問題です。

また、28件の医療機関で、保険資格が確認出来ず、窓口で10割負担となったケースがありました。保険証が廃止されれば、経済的理由により受診が困難となることも懸念されます。

よって、下記事項を内容とする意見書を国に提出するよう要望いたします。

記

3 請願の項目

いつでもどこでもだれでもが安心して医療を受けられるように健康保険証の廃止は行わず、現在の健康保険証の存続を求めること。

以上、地方自治法第124条の規定により請願します。